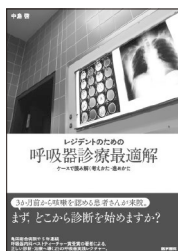


[評者]
徳田安春
群星沖縄臨床研修センター
センター長



レジデントのための
呼吸器診療最適解
ケースで読み解く考えかた・進めかた
中島 啓 著

●B5 頁392 2020年1月
定価：本体5,200円＋税
[ISBN978-4-260-03668-9]医学書院刊

最適化理論による数量モデルを利用すると、アウトカムを最大化させるような変数の解を求めることができる。これが最適解だ。数学では微分積分法などを用いて推定する。医療分野への応用では、感染症疫学での流行カーブを遅らせて小さくするためのパブリック・ヘルスの介入を求める方法がある。今、世界的に流行している新型コロナウイルス感染拡大に対する介入における最適解を求めて、研究者が数量モデルをつくり政策作成者に提言している。

日常診療で患者さんにとっての最適解を求めるには、変数とその組み合わせが無数にあるため数理モデル化は困難だ。医学部受験のために勉強した微積分を使うことはできない。患者さんのための最適解を求めるにはどうすればよいのか。

それには三大条件がある。第一に、患者さんへの問診と診察を丁寧に行い、必要な検査データを把握した担当医がいること。第二に、臨床経験が豊富で、かつ最新のエビデンスを熟知した指導医がいること。第三には、両者の効果的な対話によって診療計画が徐々に形成され、それと並行して両者が学習することである。

研修病院において、研修医や若手医師は自力で頑張れば、問診と診察、検査について把握することはできる。

しかし、多数に分かれている診療科で最適解を提示できる臓器別専門指導医が全て身近にそろっているとは限らない。

本書の著者は、自身が所属する病院で優秀指導医賞を長年連続受賞しているカリスマ指導医。優しく、丁寧で、最適解を教えてくれる指導医だ。できれば、呼吸器内科の研修はこの著者のもとで受けたいと思う読者が多いただろうが、それは簡単ではない。

そこで登場したのが本書だ。真の理想的な指導医が、実際に経験したケースに基づき、対話方式で教えてくれる。25のケースによって呼吸器内科のコモンディーズはすべてカバー。それぞれのケースで、病歴と診察所見のみの情報からスタートする。わかりやすい図表と写真もあり、網羅的な鑑別診断が表で示される。肺の画像読影での教育が得意な著者は、本書でも肺CTにおける読影ポイントをわかりやすく図示し解説してくれている。治療では、具体的な処方や注射内容が細かく記載されている。メモとして、さらに詳しい事項はコラムにまとめられている。

多くのレジデントが本書を読むことで、呼吸器系疾患の実臨床において、患者さんのための最適解を求めることの助けになることを確信している。